

2017年2月1日

長野県知事 阿部 守一 殿  
同 健康福祉部長 山本 英紀 殿

福祉医療給付制度の改善をすすめる会  
会長 和田 浩



## 子ども・障がい者等の医療費窓口完全無料化 の一刻も早い実現を求める緊急要請

### 【緊急要請要旨】

日頃、福祉の向上にご尽力いただき感謝申し上げます。

私たちは、子どもをかかえる若い世帯、ひとり親世帯、障がい者やその家族などが、経済的な心配をしないで、安心して医療を受けられる機会が保障されるように、福祉医療給付制度の改善を願って活動してきました。

この間、県や市町村では子どもの医療においては、対象年齢の拡大がされてきており大変喜んでいますが、しかし、私たちは、窓口無料を実施している都道府県が多くある中で、長野県でも、現行の自動給付方式ではなく、窓口無料（現物給付）の実施を願っています。

さて、私たちは、年末の知事の記者会見での「現物給付化検討」の発言を心から歓迎し、一刻も早く実現するよう、以下の事項を緊急に要請します。

### 【緊急要請事項】

1. 子どもや障がい者等の福祉医療給付制度は、現行の自動給付方式をやめ、一刻も早く窓口完全無料にして下さい。
2. 制度のあり方を検討する場をつくり、子どもの親や障がい者などの当事者を参加させて下さい。